

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】



2024-No.3
2024年1月26日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保破棄中央実行委員会幹事会

2024年度運動方針、役員などを決定

安保破棄中央実行委員会は1月25日、東京・文京区の全日本民医連会議室でオンラインを兼ねて2024年幹事会を開き、運動方針、役員などを決定しました。

衛藤浩司事務局次長が開会あいさつし、「戦争国家づくり」とのたたかい、辺野古新基地を許さない運動などを強めるため運動方針の確立を訴えました。

総会は議長に千坂純日本平和委員会事務局長を選出して進行。

東森英男事務局長が運動方針案を提案。その中では、2023年のたたかいを引き継いで、「安保3文書」の具体化による大軍拡を許さないたたかいの強化、政府の代執行による辺野古・大浦湾の工事で新局面を迎えた辺野古新基地話許さないたたかいなどを、金権腐敗・対米追従の自公政治を終わらせる運動と結んで広げることを提起しました。

会議では、生協労連、自治労連、自由法曹団、新日本婦人の会、全商連、安保神奈川、安保東京、婦人民主クラブ、日本共産党、安保千葉、全日本民医連、日本平和委員会の代表が発言し、運動方針案を深め補強しました。



発言の中では、春闘アンケートでの憲法アンケートのとりくみ「自衛隊強化マップ」作成(生協労連)、戦争国家づくりの法体系を明らかにするとともに自治体の自衛隊への名簿提供や土地利用規制法にとりくむ(自由法曹団)、軍拡予算反対や能登地震被災者支援、弾薬庫問題にとりくむ(新日本婦人の会)、オスプレイ配備撤回の署名強化(安保東京)など、具体的な運動が紹介されるとともに、軍拡などについての宣伝や対話の在り方についても深められました。

幹事会は2024年度運動方針など全議案を採択し、新年度の役員を選出、林竜二郎事務局次長のあいさつで閉会をしました。